

高庵(たかいお)801.2m

ポンポン山雑感

2018年6月25日 地形図〔口坂本〕

三鍋敏郎

近頃は、この辺りの無名峰を、地形図を眺めて虱潰しに登っているのだが、意外と自然林が豊富に残る名山が多いので、読図をしながら苦労して登ると面白く楽しくて仕方がない。標高 801.2m の三角点のある山は地元では高庵（たかいお）と呼ばれている。

美山町の豊郷にある西川沿いを西に進み橋を渡る。標高 283m と地形図に表記された辺りのバス停から取り付く。地方道 34 号線に向かい東から流れ込む支流沿いの道路を少し進むと右手に目的の尾根が張り出している。急登は標高差 70m ほど。植林地だが障害なく登れる。登りきると穏やかな尾根になる。暫く歩くと徐々に急登になるが標高 430m 辺りはモミの木が多くなる。イワカガミが林床に現れる。480m 辺りから穏やかな尾根に乗るが、ここからの尾根筋は自然林交じりの快適な散歩道。左手には植林が迫る場所もあるが、ミツバツツジやコナラなどが多いようだ。

ピーク 632m はマツ、ネジキ、コナラなどの自然林に囲まれ展望は無いが、気持ちの良い山頂である。このピークから高庵までそれほど難しい地形は無いが、読図を楽しみながら進むと標高 650m 辺りで東から太い尾根が合流する。この辺りはブナ林になっており、イワカガミの群生地になっている。

標高 700m を過ぎたあたりから、地形図では表現されていないが、岩稜の痩せ尾根になっているので緊張が強られる場面が多くなるが、岩場に多いシャクナゲの木が多いので春の花の季節に登るとイワカガミと両方楽しめるのではないだろうか。それにしても大きくなり過ぎた樹木が岩場で根を張れず、体を支えきれずに何本も倒木となり、無残な姿を見せている。

山頂はナナカマドなどの自然林に囲まれ展望は無いが、明るく快適空間。振り返るとヤマボウシの白い花がまだ新鮮な花を咲かせている。東斜面にはナツツバキの白い花が眼下に咲く。まだ 5 分咲き程度で花芽が多いのでまだまだ楽しめるだろう。

山頂から少し引き返すと、本日の下山ルート^の尾根が見える。全員で位置と方向を確かめる。全員一致で承認。下山ルート^の間違いは命取り。特に尾根の取り付きは慎重に確定する必要がある。

下山尾根ルートは途中で複雑に尾根が分岐するので注意がいる。想定される小ピーク^の位置と尾根の分岐を確認しながら歩く。標高 600 辺りの小ピークからの尾根の分岐は問題地点。張り出す 3 つの尾根を目視で確認し、一番左の尾根を選んで進む。このルートは登りよりも自然林が多く、尾根は障害も少なく歩きやすい。しかし、本日は気温が高く思わぬ汗を掻いたせいか足が少し攣るようだ。熱中症気味なのかもしれない。塩分と水分を十分摂取する必要がある。

標高 437mのピークを越えてしばらく進むと左手に痩せ尾根が見えてくる。まるでここを下れと言わんばかりの視覚的誘導。私たちはその誘惑に負けて尾根伝いにどんと下ると、集落の上部に出た。防獣ネットが見えたので、開門部に近寄ったが、扉は厳重にロープで万括りに綴じられている。何もここまでしなくても思ったが、住民たちと獣たちとの長年にわたる葛藤を考えると判るような気がする。

★メンバー 三鍋 他 3 名

★コース登山口 9:25～468m9:53 発 56～632m10:58 発 11:03～650m 尾根 11:52～山頂 12:25 発 13:05～登山口 14:46